



# 図書館だより

2025年度2月号 吉井高校図書館

## 蔵書点検のお知らせ

**2月16日（月）から  
2月25日（水）まで  
閉館します**

蔵書点検は、登録されているすべての本が所定の場所にあるかどうかを確認するという図書館にとって重要な作業です。作業中は貸出ができなくなり、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。



### 返却

**返却日を過ぎて**いる本は必ず返却してください。点検作業をおこなうために、返却日を過ぎている本はすべて返却してもらう必要があります。

**2月13日(金) までに必ず返却してください。**

**返却日を過ぎていない本の返却は必要ありません。**



### 2月2日（月）以降の貸出

返却日：2月27日（金）

貸出冊数：10冊

蔵書点検期間中は閉館になるため、返却期限を2/27に延ばし、貸出冊数を長期休業中と同様に10冊にします。

閉館前にぜひ利用してください。

## 藤崎先生おすすめ！

近日入荷  
予定

『ちはやふる』末次由紀 著

「競技かるた」に情熱を燃やす女子高生・綾瀬千早。かつてかるたの楽しさを教えてくれた幼なじみの綿谷新と再会するため、彼女は瑞沢高校でかるた部を設立する。部長の真島太一ら個性豊かな仲間と共に、目指すは聖地・近江神宮での全国大会。そして、かるた界の頂点「クイーン」。一瞬の静寂と爆発的なスピードが交錯する畳の上で、高校生活のすべてをかけた熱い夏が始まる。古典の授業が、明日からちょっとだけ楽しみになるかもしれません。

全巻  
あります

『ちはやふる plus きみがため』末次由紀 著

舞台は、千早たち主力メンバーが卒業したあとの瑞沢高校。かつては「恋」をきっかけに入部した花野堇が、頼もしかった先輩たちの後を継いで部長となり、不器用ながらも部をまとめようと奮闘しています。

そんな中、かるた部に現れたのは「全国制覇」を公言する超実力派の1年生・長良凜月。実力差のある新入生との衝突や、強豪校というプレッシャーにさらされながらも、新生・瑞沢高校かるた部は再び全国への一歩を踏み出します。——伝説は終わらない。あの興奮をもう一度、新しい世代と共に追いかけてみませんか？



# 新着図書

書名	著者名	出版社	請求記号
1 はじめての哲学	ジョーダン・アクボジャロ	河出書房新社	100 A
2 錯視アートの楽しみ 見てしまえば、だまされる	杉原厚吉 著	水曜社	141 S
3 一冊でつかむ聖書 ビジュアル版	保坂俊司 監修	河出書房新社	193 H
4 最後の証言者たち 戦場体験者・戦争体験者からのメッセージ	澤田猛 著	高文研	210.7 S
5 中国史見るだけブック	岡本隆司 監修、田中斉 作画	辰巳出版	222 O
6 はじめての地理学	ミナ・レイシー	河出書房新社	290 L
7 はじめての法律	ララ・ブライアン	河出書房新社	320 B
8 はじめての経済学	ララ・ブライアン	河出書房新社	331 B
9 図解眠れなくなるほど面白い起業の話	林尚弘	日本文芸社	335 H
10 13歳からのアントレプレナーシップ	生井秀一	かんき出版	335 N
11 中学校・高校教諭になるには	山田恵吾 編著	ペリかん社	366 N 89
12 星に名前をつけるなら	出雲晶子	オーム社	443 I
13 外来種がいなくなったらどうなるの？ SF思考で環境問題を考える	宮本道人編著	Kaguya Books	468 M
14 もしも世界からカラスが消えたら	松原始	エクスナレッジ	488 M
15 これからの建築入門 〈自分でつくる〉を取り戻せ	松村秀一	岩波書店	520 M
16 アパレルビジネス ファッション好きから業界関係者まで楽しく読めるアパレルの教養	久保雅裕	クロスメディア・パブリッシング	589 K
17 コーヒー2050年問題	武田淳	東京書籍	617 T
18 花々の言葉 世界ではじめての花言葉辞典	シャルロット・ド・ラトゥール夫人	国書刊行会	627 L
19 動物の看護師さん奮闘記	保田明恵	大月書店	649 Y
20 あらすじと写真でわかる!はじめての歌舞伎	利根川裕	世界文化社	774 T
21 アニメを仕事に! トリガー流アニメ制作進行読本	舛本和也	星海社、講談社	778 M
22 アニメーターの仕事がわかる本 業界の現実を教わってきました!	西位輝実	玄光社	778 N
23 ひとめでわかる!はじめての手話	中村直子 監修	成美堂出版	801 N
24 男が「よよよよよ」と泣いていた 日本語は感情オノマトペが面白い	山口仲美	光文社	814 Y
25 5分後に意外な結末ex セピア色のスクリーン	桃戸ハル 編、usi 絵	Gakken	913.6 M
26 火星の女王	小川哲	早川書房	913.6 O

## 2026年本屋大賞 ノミネート作発表

本屋大賞ノミネート作が2月6日に発表されました。全国の書店員が選び抜いた大賞候補作のうちどの本が大賞になるか、ぜひ読んで予想してみてください。大賞発表は4月9日です。

2026年ノミネート作決定!

# 本屋大賞



Supported by NOLTY 手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

- 2026年本屋大賞ノミネート作
- 『暁星』 湊かなえ 双葉社
  - 『ありか』 瀬尾まいこ 水鈴社
  - 『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ 日経BP 日本経済新聞出版
  - 『失われた貌』 櫻田智也 新潮社
  - 『エピクロスの処方箋』 夏川草介 水鈴社
  - 『殺し屋の営業術』 野宮有 講談社
  - 『さよならジャバウォック』 伊坂幸太郎 双葉社
  - 『熟柿』 佐藤正午 KADOKAWA
  - 『探偵小石は恋しない』 森バジル 小学館
  - 『PRIZE プライズ』 村山由佳 文藝春秋

☆ノミネート作のうち

- 『イン・ザ・メガチャーチ』
- 『失われた貌』

『さよならジャバウォック』は本校図書館にあります。他にノミネート作で読んでみたい本がある人は学校司書まで連絡してください。リクエストに応じます。